

会 議 要 旨

会 議 名 (審 議 会 等)	令和5年度 第5回南あわじ市文化財保護審議会	
事 務 局 (担 当 課)	南あわじ市教育委員会 社会教育課	
開 催 日 時	令和5年9月7日(木) 9時30分～12時00分	
開 催 場 所	南あわじ市役所第2別館 第5会議室	
出席者	委 員	堀部るみ子、竹田俊道、正井良徳、岡崎正信、関口功、木田徹
	事 務 局	山家光泰(社会教育課長) 真野匡史(社会教育課副課長) 佐藤秀明(社会教育課係長) 竹内まりの(社会教育課主事) 山崎裕司(埋蔵文化財事務所主任)
	そ の 他	榎勢陽一(建築技術室課長)
会 議 次 第	1, あいさつ 2, 議 事 (1) 門崎砲台跡の視察(2回目) (2) 建議書の作成について (3) その他 3, 閉 会	
議 事 要 旨	別紙のとおり	

第5回南あわじ市文化財保護審議会 議事要旨

○ 議 事

(1) 門崎砲台跡の視察（2回目）

- ・埋蔵文化財事務所の担当者が本砲台の一部復元に係る採取個所と採取する範囲及び採取の工法等についての説明を行った。
- ・社会教育課が一時仮置き先予定地について説明を行った。

(2) 建議書の作成（市役所第2別館第5会議室）

- ・建議書を作成いただいた。
- ・また、委員より意見が出されたので参考に別記いたします。

○ 建議書

南あわじ市文化財保護審議会堀部会長から教育長宛に提出された。

○ 委員からの意見（要旨）

- ・今後どうするのが重要である。
- ・せっかく残すのであれば効果の大きくなるよう活用していただければと考える。
- ・戦争遺産の砲台というのは、これからを見据えたものとして、平和的な発信ができればよいと思う。
- ・「残せ」と言うのは簡単であるが、活用や保存方法などを考えていかなければならない。これからが正念場である。